

フキ指導案

チーム四小

青梅市立第四小学校
授業改善
3年

3年1組 10月6日（月）5校時

国語「慣用句を使おう」（東京書籍 こくご3年）1／3時

本時のねらい 慣用句がどんな言葉であることを理解する。

本時のこだわり

○ UDの「しかけ」を用いて、「読みたい・伝えたい・考えたい」を引き出す

展開

	学習活動	指導・支援（○） 評価（☆）
	1. 学習の見通しを持ち、単元のめあてを確かめる。	○慣用句について調べて、最終的に慣用句ポスターを作ることを知らせる。
展開1 （内容理解）	2. 慣用句がどんな言葉であることを確かめる。 「かんようく」とは何かせつ明しよう。 アウトプット型めあて	視覚化 ○教科書の「馬が合う」を例にして、挿絵も手がかりにしながら説明を読み、意味を捉えさせる。 ・二つ以上の言葉が結び付いて、全体で元の言葉の意味とは違う意味を表す言い方を「慣用句」ということを抑えさせる。
展開2 ○	3. 「猫の手も借りたい」「道草を食う」を例に、慣用句の意味と使い方を国語辞典で調べる。 . 4. 振り返り（わかったこと）を書いて伝える。 T. 振り返りを書きます。 T. ペアで伝え合いったら、座りましょう。起立。	○国語辞典で調べさせ、意味と使い方ををノートに書かせる。 ・慣用句は決まった言い方であり、言葉を換えたり、補ったりすると意味が通じなくなることを押さえる。 ○振り返りを書くときは、かんようくとはどういうことばであるか、分かったことを書かせる。 ☆慣用句について伝えることができた。（発言）

フキ指導案

チーム四小

青梅市立第四小学校
授業改善
3年

3年1組 6月7日（火）5校時

国語「慣用句を使おう」（東京書籍 こくご3年）2／3時

本時のねらい 慣用句の意味を国語辞典を使って調べることができる。

本時のこだわり

○

展開

	学習活動	指導・支援（○） 評価（☆）
導入	1. 前時までを振り返る。 2. 本時のめあてを確かめる。	・感想を紹介して、価値付けることで学習意欲を高める。
	国語じてんをつかって「かんようく」の意味を調べよう。	アウトプット型めあて
展開① 内容	3. 国語辞典で、教科書に挙げられた慣用句の意味を調べる。 4. 1～4段落の文の誤りを探す 【しかけ】置き換え。	○全文を1枚に集約した教材文を配布 ・全文を三つに分けることを知らせ、音読しながらどこで分けられるかを考えさせる。
展開② 論理	5. 問いを探させる T.このお話は「物語文」ですか「説明文」ですか T.なぜ「説明文」といえますか C.「問い」と「答え」があるから T.問いの文はどれですか？線を引きましょう 1. はじめ・中・終わりに分ける。 A) ⑫ ⑪⑩⑨⑧⑦⑥⑤④③ ②① B) ⑫ ⑪⑩⑨⑧⑦⑥⑤④ ③②① 7 ペア→全体で交流する ★全員参加 ゆさぶり 問いが2あるけど？	・文末「～でしょうか」を手掛かりに問いを探させる ・接続詞「このように」に着目させ、「終わり」が⑫段落であることを捉えさせる。 ・選択肢を示し、名前マグネットを黒板に貼らせる。 ・③（一つ目の問い）が「はじめ」か「中」のどちらに入るかに焦点化して話し合わせる。 ○ペアで理由を話し合った上で発表させる。 ・問いが2つ③⑧あることに気付かせせる。

まとめ

8. 「はじめ・中・おわり」の役割を確認する。
学びマップで、今日の学習を振り返る。

○問いが2つある場合もあり、その場合2つ目の問いは、中に入れることを確認。

フキ指導案

チーム四小

青梅市立第四小学校
授業改善
3年

3年1組 10月8日（水）5校時

国語「慣用句を使おう」（東京書籍 こくご3年）3／3時

本時のねらい 慣用句を使った短文を作り、さまざまな慣用句について知る事ができる。

本時のこだわり

○「要点指導→要点づくり」の展開を分け。全員が内容を理解した上で論理的な読み方めぐって検討する

展開

	学習活動	指導・支援（○） 評価（☆）
導入 （5分）	1. ダウト読み 2. 4～6段落を音読する 3. 本時のめあてを確認する	・4段落を5秒で伝えて、と投げかけ、要点にまとめる必要性に気づかせる。
	だんらくをみじかくまとめよう。	
展開① （論理） 15分	4. 4段落の要点文を検討する。しかけ②選択肢 コノハチョウは、表は鮮やかな青とオレンジの羽です。 C.○です。コノハチョウの特徴が書いてある C.×です。敵のから身をかくす方法ではない C.×です。問いの答えになっていない 5 要点にまとめるためのポイントを確認し、4段落を要点文にまとめる。 ①定型文（主語＋敵から身をかくす方法） ②問いの答えになっている。 コノハチョウは、羽を閉じると色も形もかれ葉そっくりになる	・要点にまとめるポイントに気づき易い例を提示する。 ・選択肢を示し、名前カードを黒板に貼らせる。 共有化 ・「問い」の文を提示し、要点文がその答えになっているか考えさせる。 ・要点まとめのポイントを焦点化してまとめさせる ・テンプレートを示し、当てはめるだけで要点が作れるようにする。
展開② 20分	6 各自で5段落の要点をまとめる。 主語 は 敵から身をかくす方法 7 ペアで交流する。 【全員参加】 T.起立、みじかくまとめた文を伝えたら座ります。	ワークシートを配布 ・キーワードに丸つけ、不要な箇所に取り消し線を付けさせる。 ・残りをつなげて要点文を書かせる ・ペアで「5段落の要点」を伝え合う。

ま
と
め

8. 要点という言葉を知る。
学びマップで、今日の学習を振り返る。

・「かくし絵ブック」を作るにあたり、資料な
どを読みまとめる時にも役立つことを伝える。

--